

2013年2月以降

ドアポケットに入れてお使いください

PLEO

クイックユーザーガイド

このクイックユーザーガイドは、運転者ならびに同乗者の方に
プレオを楽しく安全にお使いいただくためのガイドです。
初めてプレオに触れられるときにぜひご一読ください。



SUBARU



クイック ユーザーガイドは取扱説明書の抜粋版です。必ず取扱説明書をご一読ください。

各種装備

フロントワイパー&ウォッシャースイッチ

エンジンスイッチが「ON」のとき使用できます。

MIST レバーを上
押し上げている
間、作動

OFF 停止

INT 間欠作動

LO 低速作動

HI 高速作動

PULL レバーを手前に引いている間、ウォッシャー液を噴射し、ワイパーが作動



リヤワイパー&ウォッシャースイッチ

エンジンスイッチが「ON」のとき使用できます。

(上側) ワイパーが作動中にウォッシャー液を噴射し、手を離すと「ON」に戻る

ON 連続で作動

OFF 停止

(下側) ウォッシャー液が噴射し、手を離すと「OFF」に戻る



駐車ブレーキ

●かけるとき

ボタンを押さずにレバーをいっぱいまで引き上げます。

●解除するとき

レバーを軽く引き上げながらボタンを押し、レバーを確実に戻します。



リヤウインドウデフォグガースイッチ

リヤウインドウガラスの曇りをとるときに使用します。



セレクトレバー/チェンジレバーの操作

●マニュアル車

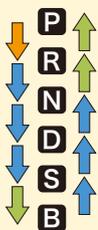
シフト位置を変更するときは、クラッチペダルをいっぱい踏み込んで確実に操作します。



●CVT車



セレクトレバーボタン



→ ブレーキペダルを踏みながらセレクトレバーボタンを押して動かします。

→ セレクトレバーボタンを押して動かします。

→ そのまま動かします。

※ **S**…上り坂や下り坂を走行するときの位置 [前進] (エンジンブレーキが必要なときの位置)

※ **B**…急な上り坂や下り坂を走行するときの位置 [前進] (強いエンジンブレーキが必要なときの位置)

ライティングスイッチ

OFF 消灯

 車幅灯、尾灯、番号灯が点灯

 上記●に加えてヘッドランプが点灯

●ヘッドランプの上下を切り替える

レバーを前に押すと上向き、元に戻すと下向きになります。

●パッシング

レバーを手前に引くと、ヘッドランプは上向きになります。



車から離れるときは、バッテリー上がりをふせぐため、必ずライティングスイッチを「OFF」にしてください。



光軸調整ダイヤル

乗員数や積載量等によってヘッドランプが上向きを照らすことがあります。

このようとき、このダイヤルを調整し照らす向きを下げることができます。

(数字が大きいほど下向き。通常はダイヤル「0」の位置で使用)



フューエルリッドオープナーレバー

●燃料の補給

- ① エンジン必ず止めてください。
- ② フューエルリッドオープナーレバーを引き、フューエルリッドを開けます。
- ③ フューエルキャップを左に回して開けます。
- ④ 燃料補給後は、フューエルキャップを「カチッ」という音がするまで、右に回して閉めます。
- ⑤ フューエルリッドを、ロックするまで手で押しつけて閉めます。



使用燃料

無鉛レギュラーガソリン

パワーウィンドウ

●運転席ウィンドウスイッチ **A**

開けるときは押し、閉めるときは引き上げます。「カチッ」と音がするまで押し下げる、または引き上げると自動的に全開、全閉します。途中で止めるときは、軽く逆方向にスイッチを操作します。



●助手席/リヤウィンドウスイッチ **B** 

開けるときは押し、閉めるときは引き上げます。

●ロックスイッチ **C**

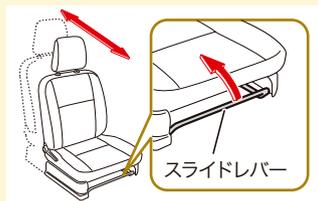
スイッチを押すと運転席以外のウィンドウは開閉できなくなります。もう一度押すと解除されます。

各種装備

シートの調整・機能

●シートスライド調整

シート下のスライドレバーを引き上げながら、前後にシートをスライドします。



●リクライニング調整

リクライニングレバーを引き上げながら背当ての角度を調整します。



●ウォークインレバー 3ドア車

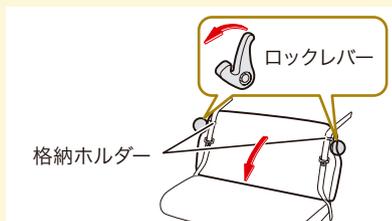
助手席側フロントシートのウォークインレバーを引いて、背当てを倒すことができます。



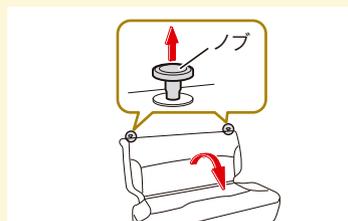
●背当ての前倒し

リヤシートを操作して、カーゴルームを広くすることができます。

- 3ドア車**
- ①かみ込み防止のため、格納ホルダーにシートベルトをかけます。
 - ②左右のロックレバーを引き、背当てを前に倒します。



- 5ドア車**
- ①かみ込み防止のため、格納ホルダーにシートベルトをかけます。
 - ②ノブを引きながら背当てを前に倒します。



ドアの施錠・解錠

●電波式リモコンドアロック

ドアが施錠された状態で、“UNLOCK”ボタン  を押すと、インジケーターが1回点滅し、すべてのドアは解錠されます。“LOCK”ボタン  を押すと、インジケーターが1回点滅し、すべてのドアは施錠されます。



- --- 作動範囲
車両中心から周囲
約3m以内

メインキー



・心臓ペースメーカーなど医療用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。詳しくは、取扱説明書をご覧ください。

エアコンの操作

室内の冷暖房、除湿、曇り取りなどができます。詳しくは取扱説明書をご覧ください。

●吹き出し口切り替えダイヤル

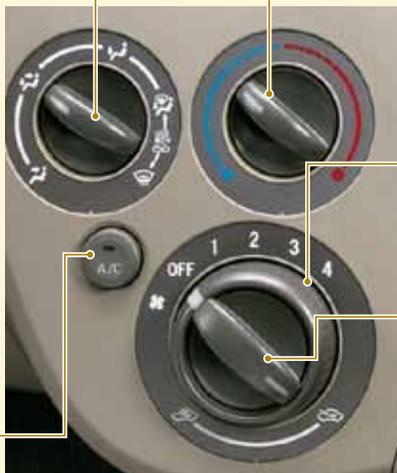
イラストの方向へ風が出ます。

-  上半身
-  上半身と足元
-  足元
-  足元と窓ガラスの曇り
-  窓ガラスの曇り

USE WITH   の位置のときは外気導入をおすすめしますというマークです。

●A/C スイッチ

冷房、除湿機能を作動、停止します。



●温度調整ダイヤル

風の吹き出し温度を調整します。

●風量調整ダイヤル (外側のダイヤル)

吹き出し口からの風の強さを切り替えます。

●内外気切り替えダイヤル (内側のダイヤル)

内気循環、外気導入を切り替えます。

-  : 内気循環
-  : 外気導入

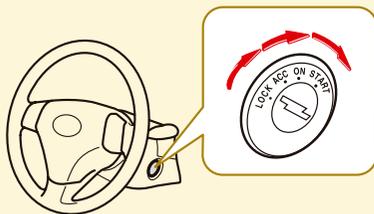
エンジンのかけかた

エンジン始動の準備

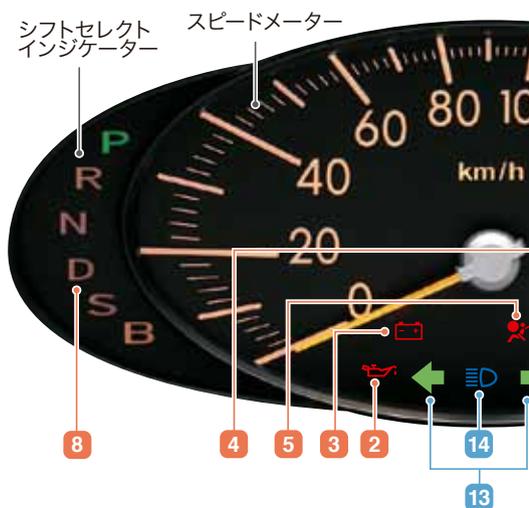
- ① 駐車ブレーキをかけ、チェンジ レバーがニュートラル(MT 車)、セレクト レバーが  レンジ(CVT 車)の位置にあることを確認します。
- ② ペダル類が確実に踏み、ハンドル操作が楽にできるようにシートの位置を調整します。
- ③ アクセルペダルおよびブレーキ ペダルを右足で、クラッチペダル(MT 車)を左足で踏み位置を確認します。

エンジンの始動

- ① ブレーキペダルをしっかりと踏みます。
- ② クラッチペダルをいっぱいまで踏み込みます。(MT 車)
- ③ ブレーキペダルとクラッチペダル(MT 車)を踏んだまま、エンジンスイッチを“START”の位置まで回します。
- ④ 始動後、クラッチペダルから足を離します。(MT 車)



LOCK	キーを抜き差しする位置です。 キーを抜くとハンドルがロックされます。
ACC	エンジンを止めたまま、オーディオが聞ける位置です。
ON	エンジン回転中の位置です。
START	エンジンを始動するときの位置です。 手を離すと自動的に“ON”の位置に戻ります。



1 ブレーキ警告灯



駐車ブレーキがかかっているとき点灯。ブレーキ液量が不足しているとき点灯。EBD 制御異常時に点灯。

2 オイルプレッシャー警告灯



エンジンオイルの圧力が低下すると点灯。

5 SRSエアバッグ警告灯



エアバッグシステムに異常があるとき点灯。

6 ABS警告灯



アンチロックブレーキシステム (ABS) 異常時に点灯。

9 水温警告灯



エンジン冷却水温が異常に高くなると点滅し、その後、さらに水温が高くなると点灯。

10 水温表示灯



エンジン冷却水温が低いときに点灯。十分に暖機していても水温センサー等に異常があると点灯したままになる。

13 方向指示器表示灯



方向指示灯を点滅させると同時に点滅。非常点滅灯を点滅させると同時に点滅。点滅間隔が異常に速いときは電球切れが考えられる。

14 ハイビーム/パッシング表示灯

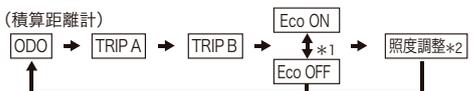


ヘッドランプが上向きするとき点灯。パッシング時も点灯。

17 オドメーター/トリップメーター

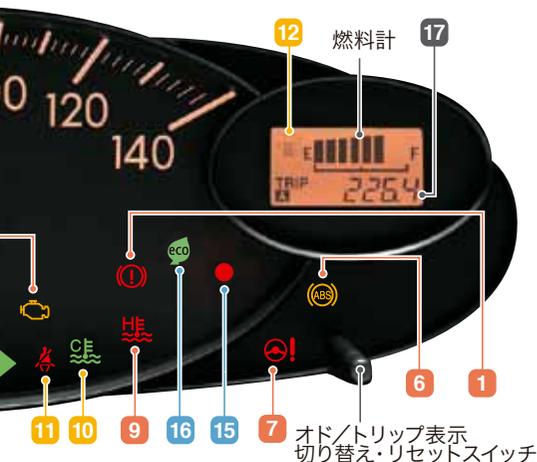
オド/トリップ表示切り替え・リセットスイッチを押すごとに表示を切り替えることができます。

(積算距離計)



*1 CVT 車のみ、Eco ON/OFF を表示中にスイッチを1秒以上押しすと ON/OFF 切替できます。
*2 車幅灯が点灯しているときに表示されます。詳しくは取扱説明書参照。

リセットするトリップメーターを表示させ、スイッチを押し続けると、表示“0.0”になります。



3 チャージ警告灯



充電系統に異常があるとき点灯。

4 エンジン警告灯



エンジン電子制御システム異常時に点灯または点滅。

7 ステアリング制御警告灯



電動パワーステアリングシステムに異常があるとき点灯。

8 CVT警告灯



CVTシステムに異常があるとシフトセレクトインジケータの“D”の位置が点滅。

11 シートベルト警告灯



運転席シートベルト未着用時に点滅。
そのまま約 20km/h 以上で走行するとブザーが鳴る。

12 燃料残量警告灯



燃料残量が 2WD 車は約 6L、AWD 車は約 5.5L 以下になると、燃料計一番左の目盛りと左のマークが点滅。

15 セキュリティ表示灯



盗難防止機能がはたらいているとき点灯/点滅。
詳しくは取扱説明書を参照。

16 Info-ECO(インフォ・エコ)ランプ



二酸化炭素排出量の少ない環境にやさしい運転をしていると、点灯します。詳しくは取扱説明書を参照。

1~9 異常時に点灯/点滅します。取扱説明書を確認の上、お近くのスバル販売店へご連絡ください。

10~12 取扱説明書記載の正しい対応方法に従ってください。

13~16 各装置の状態を示します。

エンジン始動直後は自己診断のため数秒間点灯するものがあります。

日常点検/困ったときは

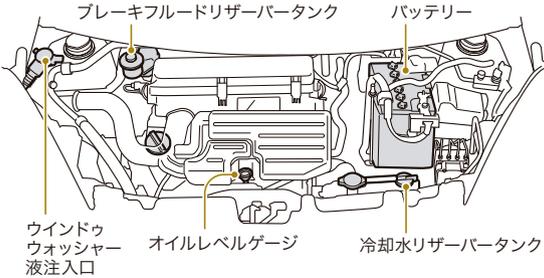
★詳しくはメンテナンスノート、取扱説明書をご覧ください。

日常点検とは、日頃ドライバー自身の責任で行うように法律で義務づけられた点検です。安全に走行するために大切な項目ばかりですので、日常点検を実施するように心掛けてください。

点検方法についてはメンテナンスノート 3章をお読みください。

■エンジンルーム内

- 下記の項目の内容容量を点検してください。



■運転席に座って

- 駐車ブレーキの引きしろを点検します。
- エンジンのかかり具合、異音の有無を点検します。
- ブレーキペダルの踏みしろを点検します。
- ウィンドウウォッシャーの噴射状態を点検します。
- ワイパーの払拭状態の点検をします。

■車のまわり

- タイヤの空気圧/き裂、損傷、異常摩耗がないか/溝の深さを点検します。



4輪とも必ず、指定サイズ、同一サイズ、同一メーカー、同一銘柄および同一レッドパターン（溝模様）のタイヤを装着してください。4輪とも同じタイヤを使用しないと、駆動システムを損傷したり、最悪の場合火災に至る可能性があります。

- 各ランプ、方向指示器を作動させ、状態を点検します。レンズの汚れ、損傷も点検します。

■走行して

- ブレーキのきき具合を点検します。
- エンジンの低速および加速状態を点検します。
- 運行において異常が認められた箇所を点検します。

困ったときは

取扱説明書の「いざというときに」を参照してください。取扱説明書に記載がある方法で対処しても作動しない、改善しないときは、スバル販売店にご連絡ください。

※本文中の写真は実物とは異なる場合があります。

お問い合わせ、ご相談はお近くのスバル販売店、または下記の窓口へお願いいたします。

SUBARUコール  0120-052215

受付時間 【平日】 9:00~17:00
【土日祝】 9:00~12:00、13:00~17:00

※平日の12:00~13:00および土日祝は(1)のインフォメーションサービスのみとなります。

SUBARUお客様センター

富士重工業株式会社

〒160-8316 新宿区西新宿1-7-2 (スバルビル)

2014年8月17日(予定)より下記所在地に変更

〒150-8554 渋谷区恵比寿1-20-8 (エビスビル)

SUBARUお客様センターでは下記の内容を承っております。

- (1) ご意見/ご感想/ご案内(カタログ、販売店、転居お手続 他)
- (2) お問い合わせ/ご相談

●スバル最新情報をインターネットで。 www.subaru.jp

お問い合わせ先スバル販売店

Publication No. F5740JJ-B

発行 2014年5月 Printed in Japan

富士重工業株式会社 スバルカスタマーセンター